

# BETHEL 2011年7月号 (第96号)

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 TEL089-925-5000

ホームページ <http://www.bethel.or.jp/>



## おもてなしの心

ホスピスの語源は、ラテン語のhospitiumに由来しており、「客をあたたかく迎え、手厚くもてなす場所」を意味しています。

ホスピス病棟では、入院の際、季節感のある生花（ウェルカムフラワー）と香り（アロマ）で患者様、ご家族をお迎えしています。

長い間闘病してきた病院や住み慣れた自宅を離れ不安や緊張いっぱいに来られる方・・・身体や心の苦しみを抱えとにかく楽にしてほしいと期待をもって来られる方・・・みなさんいろいろな思いで入院して来られます。私たちは、少しでもリラックスし安らげる雰囲気の中でお迎えしたいと思い環境を整えています。

花や香りには癒しの効果があると言われていますが、それら「もの」を整えるだけではなく、あたたかい言葉や優しい笑顔など「こころ」を込めてお迎えしたいと思います。最初の出逢いの場所を大切にし、そしてそこからはじまるかわりを大切にしていきたいと思います。患者様、ご家族の思いを素早く察知し、看護で応えていく事が何より大切なおもてなしです。

これからも患者様、ご家族が安心して、満足して過ごして頂ける場所作りを心がけていきたいと思っています。

（ 4階病棟主任 西原 雪絵 ）





## 胡瓜と豚肉のあっさり炒め &

## 胡瓜のわさび漬



暑い夏がやってきました。強い日差しや暑さに、食欲も減退気味のことでしょう。冷たい物ばかり摂ると身体を冷やしてしまいます。今回は夏野菜の胡瓜を使用した炒め物と漬物を紹介します。炒め物に入れる豚肉はビタミンB1が多く含まれておりエネルギー燃焼効果あり、疲れ防止にもなります。食欲増進にお勧めのあっさりスタミナ料理です。



### 胡瓜と豚肉のあっさり炒め

エネルギー 150kcal 蛋白質 5.8g 塩分 0.6g (1人分)

#### — 材 料 (4人分) —

胡 瓜 … 2本  
豚肉(もも)… 100g  
ごま油 … 大さじ1  
酒 … 大さじ2  
しょうゆ … 大さじ1  
酢 … 大さじ1  
鷹の爪(種除き輪切り)少々

#### — 作 り 方 —

- ① 胡瓜を乱切りにする。
  - ② 酒、しょうゆ、酢の調味料を合わせておく。
  - ③ 豚肉は一口大に切る。
  - ④ ごま油で①③の順に炒める。
  - ⑤ 豚肉に火が通ったら②の調味料を入れる。
  - ⑥ 鷹の爪を入れる。
- ※ 鷹の爪はお好みで。炒め物ですが、酢が入ってあっさりした味です。



### 胡瓜のわさび漬

わさび漬 30gあたり… 塩分 約0.6g

#### — 材 料 —

胡 瓜 … 500g 塩 … 8~10g  
砂 糖 … 50g  
練りわさび… 1/3本程度 (好みで調節する。)

#### — 作 り 方 —

- ① 胡瓜は洗って、5cmぐらいの斜め切りにする。
- ② 塩と砂糖を合わせておく。
- ③ ①の胡瓜の切り口にわさびを塗る。
- ④ 清潔なナイロン袋に③の胡瓜と②の調味料を入れ、水が出ないように縛る。
- ⑤ 冷蔵庫で2~3日程度置く。(途中全体を揉むと味がなじみやすい。)
- ⑥ さっと水で洗い、食べやすく切る。



( 栄養課 )

## 外来からのお知らせ

### ◎ 7月の休診（6月21日現在）

7月14日（木） 外科 山本 祐司 医師

### ◎ 7月精神科・神経科外来診療日のお知らせ（豊田 泰孝 医師）

7月13日（水）、7月27日（水）

## 新人紹介

うえた みわ  
上田 美和 さん



配属部署：3階北病棟

職種：看護師

出身地：香川県

星座：射手座

趣味：イラスト、旅行、ライブ

好きな物：おにぎり、野菜料理

尊敬する人：両親

好きな言葉：1度逃げたら逃げ癖がつく！

抱負（一言）：まだ慣れないので、みなさんにご迷惑をおかけしますが、頑張りますので、どうぞよろしくをお願いします。

こだま なおみ  
小玉 尚美 さん



配属部署：3階南病棟

職種：介護職

出身地：松山市

星座：牡羊座

趣味：トールペイント、読書

好きな物：アロマオイル

尊敬する人：マザー・テレサ

好きな言葉：ローマは1日にして成らず

抱負（一言）：1日1日を一生懸命大切に生きる

## 東日本大震災支援

6月1日～6日の間、宮城県石巻市への支援部隊として、三好浩輔医師、中野師長、西野薬剤課主任、村上看護師、渡邊事務員の5名で被災地の診療と避難所の巡回を中心に活動して来ました。以下は村上看護師のメッセージです。



震災発生時より何か少しでも力になれることはないか考えており、三好浩輔医師の救護活動に志願しました。実際の活動で、被災者の方と話すときに、仮設住宅などこれから状況は少しずつでも良くなっていくので頑張りたいと声をかけていました。しかし、仮設住宅に入っても、生活費や光熱費の問題。期間が限られ、今後の生活の場を考えたりと…安易な声かけをしてしまったと反省しました。若い人はまだ働けるし、自力でなんとかできたとしても、高齢の方が圧倒的に多い状況を見てこの人たちはどうなるのだろうか？と感じました。「ハンカチ一つから買わないといけない」という言葉が胸に残り、すべてを失うということは想像もつかないことだと感じました。家族・家・仕事・地域全てを失いさらに長引く



避難所生活今後の不安…。現実の厳しさ・震災の被害を肌で感じました。今回の活動はほんの一部にすぎませんが、ここ愛媛からの支援の思いが伝わることを願っています。今後の復興を祈っています。（村上 泰子）

## ベテル旬会

真赤なバラ

終日濡れて

折り紙の傘

（千田尾元子）

梅雨木立ち

愚陀仏庵の

しまかな

（平岡 恵風）

梅雨晴れや

干し物白き

雲の峰

（谷 節子）

腰痛み

汗にじませ

物療を

（山下早知子）

足湯して

ほんのり赤し

夕涼み

（杷瑠子）

なげいえぬ

主の言葉に

悩む夏

（猪野 蒔平）

入梅か

小雨続くは

山遠し

（門田 節子）

雨上がり

頭を垂れる

七変化

（俊 山）

◎ 投句箱は外来・各病棟・5階リハビリ室に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。  
※『ベテル通信』についてのご意見やご要望をお待ちしております。